

第 166 回 記録管理学会例会のご案内

大会・例会担当理事 石井 幸雄

第 166 回例会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインにて開催します。

10 月 25 日の研究大会は、発表・質疑とも時間が限られており、懇親会もなかったのでコミュニケーションを補完する例会にしようと思います。今回は、九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻の李星洋さんに、研究大会と同じテーマでじっくりお話しいただき、参加される皆様との交流を通じて新たな知見を生み出す場になることを期待しています。

なお、研究発表については、学会誌『レコードマネジメント』79 号（2020 年 12 月 12 日発行）に掲載されていますのでご一読ください。

《報告概要》

中国の档案をめぐる状況は、1987 年の档案法が公布されて以降、大きく変わった。档案の保存・管理・公開などについて詳細に規定された。海外の一部の研究者は、中国で档案と呼ばれるものには非常にセンシティブな情報が含まれ、それ故に档案館の役割は単なる文書管理ではなく、権力側で個人情報把握する国家機関だと考えている。また、档案館は日々国民の日常生活を監視するという冷ややかな評価もある。

では実際に中国の档案館はどういうような機関なのか、档案管理制度はどのように制定されたのか、かかる問題点を本報告で明らかにしたい。また、将来的に档案の管理と利用に関する中国の課題や中国の档案館の特徴を指摘したい。

会員の皆様はもとより、本テーマにご関心がある方は奮ってご参加下さい。なお、今回は、議論を深めるため少人数で実施しますので、お申込みは先着 15 名様とさせていただきますのでご了承ください。

記

- テ ー マ 中国档案館における管理体制の考察
内 容 李星洋氏(会員)による報告及び参加者とのディスカッション
開催日時 2021 年 1 月 30 日(土)15:00~17:00
開催方法 オンライン方式(Zoom 形式)
主 催 記録管理学会 : <http://www.rmsj.jp/>
後 援 ARMA 東京支部 : <http://www.arma-tokyo.org/>
参加費 会員・非会員とも無料
要 申 込 e-mail : office_ishii/atmarak/maia.eonet.ne.jp
問合せ先 お申し込み時に、ご芳名、ご所属をご記入ください。
※メールの際は、/atmarak/を@に変更して送信をお願いします。
申込締切 2021 年 1 月 23 日(土)22:00、ただし、先着 15 名様とさせていただきます。
ミーティング ID 及びパスワードは、1 月 24 日(日)、参加者全員にメールします。

以上